

# 大阪南ロータリークラブ会報

第 776 号

2022 年 10 月



事務局 〒536-0011 大阪市浪速区難波中 1-12-5  
難波室町ビル 8 階  
例会日 毎週火曜日 午後 0 時 30 分  
例会場 スイスホテル南海大阪 8 階  
会長 澤村 剛士 幹事 栗原 大

## 第 2 回クラブフォーラム

国際奉仕・財団部門

日 時：2022 年 9 月 6 日（火）

午後 17 時 30 分登録、午後 17 時 50 分開会

場 所：セントレジス大阪

11 階「アスターボールルーム」

中央区本町 3-6-12 ☎ (6258) 3333

討議部門：国際奉仕・財団部門

形 式：バズセッション

E テーブル ◎小椋、木村、松林、清水、下井、

山田

F テーブル ◎後藤、樋口纏、大石、鮫島、

佐藤、寺川

G テーブル ◎濱口、安部、松山、新田浩、

上村

H テーブル ◎伊倉、青山、菰田、森、中島、

大西

I テーブル ◎江頭、川谷、錦織、新田一、

大熊、庄司

### 議 題：

- ① 国際奉仕の事業の方向性やあり方について
- ② 奨学事業をロータリー内で知っていただくため、奨学生とロータリアンとのより幅広い交流はどうしたらいいのか
- ③ 財団寄付につなげるための理解を深める改善策

出席者（敬称略 順不同） 53 名

### ◎テーブルマスター

A テーブル 澤村、中村剛、天野、小林二、

大桑、横山慶

B テーブル ◎山岡、小八木、桑原、三原、

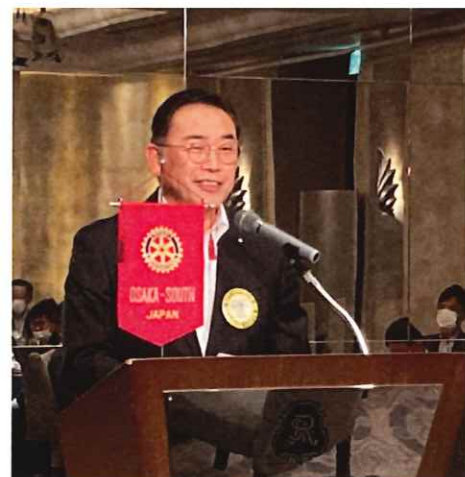
持松、新開

C テーブル ◎川田、樋口喜、城戸、小畑、

河野、栗原

D テーブル ◎木本、下條、長谷川孝、石橋、

伊藤勝、山本和



### 1、開会挨拶：澤村会長

今回のフォーラムは、久々に国際奉仕部門と財団部門合同でさせて頂きましたので、通常より高級な会場で開催出来ました。国際奉仕事業は皆様から財団への寄付がなければ補

助金が活用出来ない。皆様のご寄付のおかげで大阪南 RC は、地区補助金やグローバル補助金を活用した事業が実施出来ております。グローバル補助金事業は、準備、実行、その後の成果報告と、3年がかりの事業です。本日の理事会で、グローバル補助金事業の議案が通り申請をする事になりました。即今は補助金の助成率も厳しくなっているばかりでなく、成果も求められています。今回の事業は、現地からのニーズをベースに、日本の医療技術を現地の医師にトレーニングをし、都市部のみならず地方でも人命を救う事を目的にしています。申請段階で、RIから承認が出るかは不透明ですが、このように、皆様からの寄付が世界各地で色々な形で活かされている事を、このフォーラムで、今一度、認識して頂き、今後のクラブの奉仕の有り方に繋げていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

## 2、初参加の新入会員紹介：

新田浩二郎青少年奉仕委員長

## 3、テーブルマスター指名：栗原幹事

## 4、ゼネラルリーダー議題説明：

大桑財団担当理事

本日は、参加を増やしたいので、新しい会場のここセントレジスで開催させて頂きました。先週の地区財団セミナーに出席させて頂き、ポリオ発症国もパキスタンとアフガニスタンの2カ国のみですが、天災や内戦で、ワクチン接種が難しい中、頑張っています。ポリオ根絶は、ロータリーの国際公約でありますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。本日の議題は、議論がしやすい議題にさせて頂きましたので、活発なご意見、どうぞよろしくお願い致します。

- ①国際奉仕の事業の方向性のあり方について
  - ②奨学事業をロータリー内で知っていただくため、奨学生とロータリアンとのより幅広い交流はどうしたらいいか
  - ③財団寄付につなげるための理解を深める改善策 です。
- どうぞよろしくお願い致します。

## 5、乾杯：小林二元会長

私は本年度地区ロータリー財団委員会に向向しておりました、先週の地区財団セミナーにも出席しておりました。当クラブは人数が多いので寄付額自体は大きいですが、1人当りの寄付額は、決して多くない状況です。ポリオプラスでは、地区79クラブ中、50番目です。今年度は70周年記念で大がかりな事業が予定されています。そこには、地区補助金やグローバル補助金を活用した事業も含まれております。しかしその原資は財団寄付です。寄付の方も70周年に相応しい形に増えればと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



## 6、テーブルマスター報告（発表順の通り）

Bテーブル：山岡世界社会奉仕委員長

- ①国際奉仕の事業の方向性やあり方について
- ・国際奉仕はニーズの把握が大切。ニーズを把握するには人間関係が必要。人間関係構築には、回数を重ねていくことが大切。



- ・事業をしていくにはクラブも地区もリーダーシップと信頼関係が必要。リーダーシップを発揮できる人、信頼関係をつくれる人がいないとできない。

②奨学事業をロータリー内で知っていただくため、奨学生とロータリアンとのより幅広い交流はどうしたらいいか

- ・そもそも奨学生とロータリアンは交流した方が良い？交流しないで勉強に集中できた方が良いのでは。
- ・帰国後の情報があるといい。共産党の偉い人になったとか聞きたい。
- ・ブライアンさんは米山奨学生でした。

③財団寄付につなげるための理解を深める改善策

- ・今払ってない人に払ってもらおう努力をするより、今払っている人にプラス5,000円お願いした方が集まるのでは。
- ・クラブの方向性が決まれば集めやすい。50位のままでいいのか、順位を上げたいのか決めると良い。
- ・今年は70周年の国際事業をするので、もう10,000円お願いね。



Cテーブル：川田国際交流委員長

①国際奉仕の事業の方向性やあり方について

- ・属人的な事業ではなく、組織として取り組める事業にしていくべき。

- ・姉妹クラブとの連携、または新たな姉妹クラブを増やし現地のニーズ、かつSDGsに合致する事業でなければ意味がない。

- ・日本（大阪）から比較的近くて行きやすい地域での事業であればクラブメンバーも参加しやすいはずである。

②奨学事業をロータリー内で知っていただくため、奨学生とロータリアンとのより幅広い交流はどうしたらいいか

- ・まずは例会に参加してもらい、毎回テーブルを替えることでクラブ内のロータリアンと接触する機会を増やすことから実行してみる事が大事。

- ・奨学生が承諾するのであれば、毎月ロータリアンの自宅で宿泊や食事する機会を設けることも良い。

③財団寄付につなげるための理解を深める改善策

- ・財団担当になってみないと分からないことが多いため、全員が必ず財団担当をすることが大事。
- ・上記②のようなできることから行っていくことが財団寄付を増やすのに効果があると思う。



Dテーブル：木本ロータリー財団委員長

①国際奉仕の事業の方向性やあり方について

- ・グローバル補助金は国際活動を支援し推進

する原資である。RI で定める「7つの重点分野」の方針に従い事業が実施されていて、それで良い。

- ・補助金は実際に現地に出向き、自分の目で見て、人々と会話をして、その使用先を決める事が重要である。その為に必要な旅費を含めた経費は財団が負担すべきである。
- ・海外拠点を広げる為、姉妹クラブを二つにする。(大阪南 RC 規模からも必要だと思う。)

②奨学事業をロータリー内で知っていただくため、奨学生とロータリアンとのより幅広い交流はどうしたらいいか

- ・現在奨学生はアジア系(中国人)女性に偏っている。選考基準を見直し幅広く人材を採用する。
- ・カウンセラーはロータリーの体制と無関係な人を登用する。

③財団寄付につなげるための理解を深める改善策

- ・ロータリーの目的は世界に目を開いて幅広い奉仕活動を展開し、多方面にわたり貢献する事である。従ってロータリアンが一定の寄付をする事は、避ける事が出来ない義務である。その仕組みを再三説明し、しっかりと理解させる必要がある。
- ・また、その活動状況や効果を映像などを使い報告する義務がある。必要であれば、ロータリー財団及びロータリーの幹部が取り立てる事も必要である。
- ・ポリオ根絶は最優先課題である。世界で残された国はパキスタンとアフガニスタンの2カ国となり、その活動状況と悲惨な感染者を財団セミナーで画像を使い説明を受けた。実体を目の当たりにし、ロータリーの

存在意義と活動の重要性を痛感した。



Eテーブル:

小椋ロータリー財団副委員長

①国際奉仕の事業の方向性やあり方について

- ・RCは単年度制が基本だが、3~5年で計画する事業があってもいいのではないか。
- ・現地のロータリアンや事業に携わる方との連携をとるために大阪南 RC に招いて計画段階から事業を練り上げていくというのはどうか。
- ・日本の RC には「陰徳を積む」という風潮があるが、近年の RI はマスメディアに紹介されるような事業を推奨している。この部分も一考してはどうか。

②奨学事業をロータリー内で知っていただくため、奨学生とロータリアンとのより幅広い交流はどうしたらいいか

- ・奨学生のテーブルを毎週変わっていけばどうか。
- ・月一度でも、例えば委員会報告で話してもらってはどうか。
- ・他の RC では顔を覚えてもらうために受付の手伝いをしてもらっているところもある。大阪南 RC でも一考してはどうか。

③財団寄付につなげるための理解を深める改善策

- ・財団の役割や寄付金の流れを大型パネルに



して例会ごとに展示してはどうか。

- ・月毎の寄付状況はガバナー月報に掲載されているので、委員会報告・卓話また会長の時間などで発表してはどうか。



#### Fテーブル：後藤国際交流委員

- ①国際奉仕の事業の方向性やあり方について
  - ・お金だけを出すのは無意味あり、ニーズから授業組み立てまで現地と一緒に考えるべき。
  - ・ローカルのニーズ情報はどこから得ているのか？そういった情報も重要である。
- ②奨学事業をロータリー内で知っていただくため、奨学生とロータリアンとのより幅広い交流はどうしたらいいか
  - ・担当者や過去に担当したメンバー以外は奨学事業についてほとんど知らない。
  - ・特定の国以外の奨学生を大阪南 RC からリクエストできないのか？
  - ・選定方法を我々にも明確に開示して欲しい。
  - ・後進国の奨学生をお世話したい。
  - ・奨学生は1人なので、メンバーとの交流にはもっと IT 技術（SNS/Zoom/メール等）を有効活用すべき。
  - ・クラブの公式 SNS に奨学生に登場していただき、人となりや日常をアップしてもらうことで、交流と公式 SNS 活用の両方にメリ

ットが出るのではないかと？

- ③財団寄付につなげるための理解を深める改善策

- ・結局財団寄付については、なんの事か分からない。

まとめ

現在の大阪南 RC の国際事業の方向性は間違っていないが問題点も多い。

奨学事業を知るにはまず当クラブの奨学生を知るべきであり、そこには SNS 等を利用した IT 技術を駆使し、奨学生の登場機会を増やすことで交流のきっかけが生まれ、事業そのものの理解も深まる。また後進国の奨学生を受け入れることで、後々その国で国際奉仕事業ができるのではないかと意見。

財団寄付については残念ながらほとんどの方が理解されていないようでした。



#### Gテーブル：濱口国際交流委員

第2回クラブフォーラムは国際奉仕・財団部門の共同開催となった。国際奉仕事業はグローバル補助金を活用する事なしに展開できず、その補助金は財団基金によって成り立っているというのが共同開催の意義であると、澤村会長より説明がなされた。

テーマは3つ与えられたが、我々Gテーブル（Goodmen's table）が主たる討議としたのは、2点であった。

1つめは、財団寄付への理解を深める改善策である。これには異論なく“何回も説明する”という意見にまとまった。ただ、寄付された基金の活用用途は各種プロジェクト、ポリオなど様々な幅広い視点から絞り込まれたものであり、その用途までしっかり説明する必要があり、特に映像を用いたプレゼンテーションが有用であるとの意見に共感が集まった次第である。

2つめは、奨学生とロータリアンとの幅広い交流についてである。各年度の奨学生は1名を対象としているが、多くのビジネスパーソンに囲まれながらの例会参加などは学生にとって緊張感を伴うであろうものであり、友人の参加奨励とその費用の予算化の提案がなされた。また、定期的に報告会の機会があるが、具体的な社会課題をロータリアンが示し、それに対して学生が研究発表を行う形はどうかとの意見が出た。学習意欲の高い奨学生が、学校で学ぶ専門分野だけではなく、リベラルアーツ的な研究も有意義であると考えられるからである。



#### Hテーブル：伊倉世界社会奉仕委員

・国際奉仕事業については、言葉や人脈、相手国のRCとの連携、単年度事業でありながら継続性を問われるなど、いろいろな課題があるが、クラブ内の事業決定プロセスを

見える化した方が良いのではないか。例えば、候補に挙がった事業、判断要素と候補事業の評価など、決定プロセスをクラブ内で共有すれば理解が深まるのではないか。

- ・奨学生とロータリアンの交流拡大については、現時点では一人しかいない、奨学生を自分たちで選べない、奨学生と会員の年齢差も大きく共通の話題に欠ける、例会時にコミュニケーションをとる時間も少ないなど例会で交流を深めることは難しい。予算の問題はあるが、通常例会以外の家族会などに友人も同伴で誘うのが良いのではないか。また、RACの方でもケアしてもらおうという考えはないのだろうか。
- ・財団への寄付向上については、そもそもロータリー会員になる際にロータリー精神に賛同しているはずなので、寄付を会費に含めて請求するので良いのではないか。しかしながら、会費を上げると困る会員もいるだろうし、新規入会の妨げにもなりかねない。寄付をしない方に寄付をお願いするのもよいが、寄付をしてくれる人の平均寄付金額を上げると考えると、寄付金を松竹梅の3レベル（現在の寄付金額を梅とする）設定するのも良いかもしれない。人は真ん中を選ぶ傾向があるので。



#### Iテーブル：江頭会員友好委員



### ①国際奉仕の事業の方向性やあり方について

- ・良くある話であるが、これまでは物品を送っていただけだが、会長がおっしゃっていたように物だけではなく、何かを教えるべく事をしていった方が良い。また、単発ではなく継続的にやっていく方が良い。その為には海外クラブとの継続的な交流が必要。
- ・日本の放置自転車を200台インドネシアに送ったこともあった。ベトナムで井戸を掘った。今年は植林。
- ・方向性としては、聞いたこともないような誰も知らない国に特に人口の少ない国の方が効果的では？
- ・毎年継続させた方が良い。最低でも5年10年はやらないと、相手も期待する。お互いの為に長いお付き合いをした方が良い。

### ②奨学事業をロータリー内で知って頂く為、奨学生とロータリアンとのより幅広い交流はどうしたらいいか

- ・羅鳳琳さんのテーブルを回した方が、沢山のひとと交流出来るのでは。
- ・現在どんな方が知らない人が多い。
- ・羅鳳琳さんはどこにいるのか？

### ③財団寄付に繋げるための理解を深める

#### 改善策

- ・財団寄付者の名前を公表した方が良い。
- ・紙でくるのは非生産的、3回払うのが手間、年会費に組み込んだ方が良い。せめて請求書をまとめて送ってくれたら助かります。



### 7、ゼネラルリーダー講評：

#### 横山慶国際奉仕担当理事

皆様。本日はありがとうございました。大桑理事にすべて任せて設営をして頂きましたが、ホスピタリティ溢れる素晴らしいクラブフォーラムになりました。これも奉仕だと思います。財団寄付と言うものは、金額の大小ではなく、気持ちだと思っております。本日、皆様から沢山意見を頂きました。今後の参考にさせて頂きたいと考えております。国際奉仕委員会は、世界社会奉仕委員会と国際交流委員会で構成させております。ここで国際交流川田委員長よりメルボルン国際大会のPRをさせて頂きたいと思っております。

川田委員長より国際大会のPRが行われた。



### 8、閉会挨拶：上村副会長

皆様、ご苦勞様でした。本日も中身の濃い議論をして頂いたと思っております。私は、海が好きで海釣りに行くのですが、海にまつわる好きな言葉に「波間に道なし、道は縦横にある」、これは波の間では、道は見えないが、進むべき進路は、いくらでもあるという意味です。本日のバズセッションでも色々な意見が出た訳ですが、それをどんどん発展すると、いっぱい進路が出て来ると思っております。本日はお疲れ様でした。

(文責： 副幹事 山本 和良)

## 9月定例理事会

### 協議事項

1. 台北中央 RC 創立 37 周年記念パーティについて
2. 『次世代へつなぐ』新入会員&理事 懇親会
3. 会員種別（伝統芸芸能従事者優遇制度）の件

### 審議事項

1. 新入会員候補者の件
2. 寺嶋 直大会員の件
3. 赤い羽根共同募金実施の件
4. 秋の家族会開催の件
5. 2022-23 年度大阪南 RAC 予算報告の件
6. 国際奉仕事業について

### 報告連絡事項

1. 秋の RYLA セミナーについて
2. 地区大会の件
3. 大阪南なみはやロータリー衛星クラブの事業について
4. インターアクトクラブ設立について
5. ニコニコの件
6. その他

## ニコニコ箱へ

- 安部 裕也 会員から ・大阪南ロータリクラブの公式ツイッターを開設しております。ツイッターアカウントをお持ちの方は是非フォローよろしくお願いします。
- 江頭 慶彦 会員から ・エジプトから無事、帰還いたしました。現地バナー交換をさせていただきました。次週、お披露目させていただきます。
- 藤井 眞澄 会員から ・本日入会の菅 真司さんをよろしくお願いします。
- 福本 桂太 会員から ・早石先生にお世話になりました。ありがとうございます。  
・皆勤賞ありがとうございます。
- 濱口 健宏 会員から ・皆勤賞ありがとうございます。本日の卓話よろしくお願いします。
- 早石 誠 会員から ・ほとんど Zoom 参加でしたが、皆勤賞をいただきありがとうございました。
- 入江 義雄 会員から ・10月6日「文楽を楽しむ会」総会に皆様の御支援ありがとうございました。
- 伊藤 勝彦 会員から ・秋の RYLA セミナーにクラブ推薦で長男が参加させていただきました。  
楽しく、有意義なセミナーでした。ありがとうございました。
- 伊藤 芳晃 会員から ・新入会員の堀岡 淳さんをよろしくお願いします。
- 岩谷佳也子 会員から ・今週末に娘の結婚式があります。嬉しいのでニコニコさせていただきました。



- 小畑 剛平 会員から ・10月13日の興国高校インターアクトクラブ認定状伝達式は、宮里ガバナー他多数のご来賓と、当クラブから澤村会長他多数のご出席を賜り、素晴らしい式典となりました。皆さま、ありがとうございました！
- 久我 三郎 会員から ・入会記念品ありがとうございました。
- 草島 葉子 会員から ・おかげ様で、OBの蟬川泰果がパナソニックオープンでアマチュアながら優勝することが出来ました。ありがとうございます！  
・先日のインターアクト認定状伝達式では宮里ガバナー、澤村会長はじめ皆様方のご出席のもと素晴らしい1日を迎えさせていただき、心より感謝申し上げます。次回はウクライナの学生を連れてご挨拶申し上げます。
- 真砂 武史 会員から ・本日の卓話をさせていただきます。何卒よろしく願いいたします。
- 持松 明弘 会員から ・本日の卓話はしょうもない話になるかもしれませんが、よろしく願いします。
- 森 光三 会員から ・また！優勝してしまいました。応援、ありがとうございました。  
(喜んでいるのは、ひよっとして私だけかも～)  
・村上選手！56号と三冠王おめでとう!!  
・スママセン！また勝ってしまいました。このニコニコでお許し下さい!!
- 中島 成和 会員から ・ゴルフ同好会の天野年度取り切り戦で本当は天野会長が優勝でしたが、優勝賞品のカッコイイキャディバッグをお譲りいただきました。  
ありがとうございます。
- 小倉 宏之 会員から ・三宅さんお世話になりました！
- 岡島 祐紀 会員から ・先日、初めてクラブのゴルフ同好会に参加させていただきました。  
楽しい先輩方と回らせていただきました。今後とも宜しくお願いいたします。
- 大熊 直子 会員から ・お誕生日の記念品ありがとうございます。
- 大西 雅也 会員から ・配偶者誕生日のお祝いをいただきありがとうございました。
- 澤村 剛士 会員から ・次回クラブ内コンペ、痛風の腫れがひかず、欠席させていただきます。  
キャンセルを忘れており、ご迷惑をおかけし申し訳ございません。  
・興国高校インターアクトクラブ結成承認おめでとうございます。13日、無事に授与式を終える事ができました。松山青少年担当理事並びに、小畑委員長はじめインターアクト委員会の皆様には大変お世話になりました。
- 島本 恭次 会員から ・誕生日の記念品いただきました。ありがとうございます。
- 神藤 佳浩 会員から ・11月4・5日国内社会奉仕事業「うまれてうれしい。」Happy to be Born. ポスター掲示のご協力よろしく申し上げます。  
・本日、赤い羽根の募金ご協力ありがとうございました。
- 末澤 市子 会員から ・本日、卓話の羅鳳琳さんをよろしく申し上げます。
- 上田 豊 会員から ・お祝いをいただきましたので…。

上村 豊 会員から ・素晴らしい興国高校インターアクトクラブ認定状伝達式に出席させていただき  
ありがとうございました。

山本 博史 会員から ・遅ればせながら早石先生にお世話になりました。

本年度目標額 530万 10月18日現在 累計 1,941,940 円